

学費

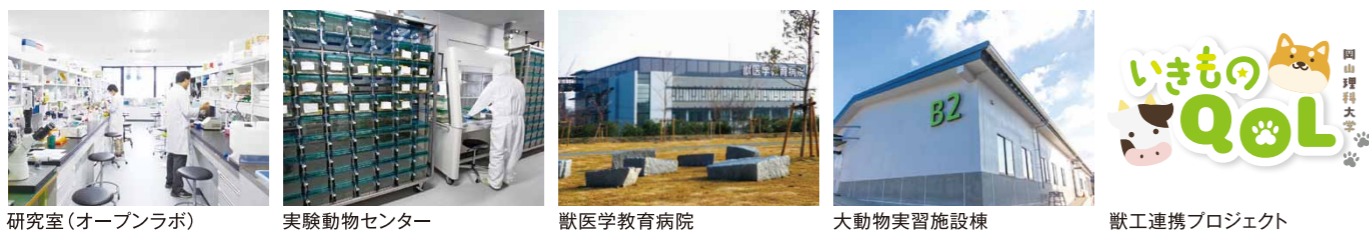
獣医保健看護学専攻 (仮称)	入学年次			2年次以降		
	春学期	秋学期	合計	春学期	秋学期	合計
獣医学専攻 (仮称)						
入学金	100,000	—	100,000	—	—	—
授業料	210,000	210,000	420,000	210,000	210,000	420,000
実験実習費	50,000	50,000	100,000	50,000	50,000	100,000
施設設備費	50,000	50,000	100,000	50,000	50,000	100,000
合計	410,000	310,000	720,000	310,000	310,000	620,000

※入学金は入学年次のみ徴収します。※本学および関連大学(倉敷芸術科学大学、千葉科学大学)出身者については入学金を免除します。(単位:円)

今治キャンパス アクセス



研究・教育施設



学校法人 加計学園

岡山理科大学 大学院 獣医学研究科

獣医保健看護学専攻 (仮称)

獣医学専攻 (仮称)

[仮称 / 設置認可申請中]

今治キャンパス 〒794-8555 愛媛県今治市いこいの丘1-3 TEL(0898)52-9000

※名称及び掲載内容は予定であり、変更となる場合があります。

学部での学びをベースに、より高度な獣医学と獣医保健看護学のスペシャリストへ。

岡山理科大学 大学院

獣医学研究科 (仮称)

獣医保健看護学専攻 (仮称) 修士課程
獣医学専攻 (仮称) 博士課程

2024年4月開設予定 設置認可申請中

SCIENCE is here, the future is here.
岡山理科大学
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

※名称及び掲載内容は予定であり、変更となる場合があります。

あらゆる動物を多角的に理解したうえで 動物にかかわる諸問題を解決できる人材を養成。

犬、猫などの愛玩動物、牛、豚、鶏などの産業動物、さらにライフサイエンス分野に欠かせないマウスなどの実験動物。私たち人間の豊かな暮らしは、あらゆる動物によって支えられています。こうした動物にかかわるさまざまな問題や課題を見出し、解決できる人材には、多角的な視点からの動物への理解、研究結果を解析するための知識・思考力・技能などが求められます。本学では、獣医保健看護学および獣医学に関する学部での学びをベースとして、より高度な能力を持つ研究者、さらにはこの分野における指導者を養成すべく、2024年4月に獣医学研究科(仮称/設置認可申請中)を開設予定です。

※名称及び掲載内容は予定であり、変更となる場合があります。

■ 研究科・専攻

	研究科・専攻	学位
獣医学研究科	獣医保健看護学専攻(修士課程)	修士(獣医保健看護学)
	獣医学専攻(博士課程)	博士(獣医学)



獣医保健看護学専攻^(仮称) 修士課程 2年制

獣医保健看護学の次世代を担う研究者・専門家として活躍。

専攻の概要

課題解決能力を持つ
ハイレベルな研究者・次世代指導者を養成。

獣 医保健看護学専攻修士課程は、西日本エリアの教育機関では初めての設置となります。人と動物の豊かな共生のためには、獣医保健看護学が扱う複雑な課題に対して、データ解析から客観的に解決策を導き出せる研究者の養成が急務です。そこで本課程では、エビデンスに基づく課題解決能力を持ったハイレベルな研究者、将来の指導者となり得る人材を養成します。



学びの特徴

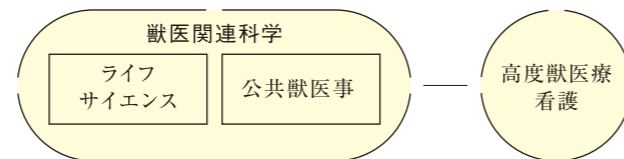
獣医療対象すべての動物の看護を学ぶ。

獣 医保健看護学専攻では、その対象を愛玩動物だけに限定していません。産業動物、実験動物を含む、獣医療の対象となるすべての動物に対する看護実践を学びます。本課程では、学術領域の枠にとらわれることなく、ライフサイエンス、公共獣医事分野を含む「獣医関連科学分野」及び、「獣医療看護分野」の2つの教育研究分野を基盤として学修。獣医関連科学と高度獣医療看護分野を融合させた学びを展開します。

解析力やコミュニケーションスキルも修得。

専 門科目では、獣医保健看護学に関する研究における専門的かつ幅広い知識を学びます。「演習科目」では、グループ学習などを通して思考力や関心・意欲、さらに研究者として必要な技能を修得。あわせて解析力、課題発見能力、コミュニケーションスキルも培います。「特別研究」では、教員のアドバイスを受けながら独創的な研究(修士論文)に取り組むことで、自律的な学修方法を身に付けます。

2つの教育研究分野



卒業後の進路

人間社会と密接な関係を持ち、個人や社会を支える動物を管理するために必要な高度動物看護学や獣医関連科学の知識を備えた人材を養成。多角的な視点と最先端の研究戦略で課題を解決できる協調性・創造性豊かな獣医保健看護学研究者の養成をめざします。

- 獣医療における看護実践や研究を通して、エビデンスに基づいて課題解決ができる高度獣医療看護分野研究者。
- 多角的な視点から研究の計画・遂行・考察ができる、ライフサイエンス・公共獣医事研究者を含む獣医関連科学研究者。

獣医学専攻^(仮称) 博士課程 4年制

ライフサイエンス・パブリックヘルスサイエンス・クリニカルサイエンス分野の課題解決に貢献。

専攻の概要

多角的な視点・手法を用いて諸問題を解決できる
獣医学研究者を養成。

獣 医学専攻博士課程は、四国および岡山・広島エリアの教育機関では初めての設置となります。ライフサイエンス・パブリックヘルスサイエンス・クリニカルサイエンス分野において、動物に関するさまざまな重要課題に対し、必要な情報や人材を集めて効率的に解決できる研究者の養成は急務です。そこで本課程では、さまざまな重要課題に対応できる獣医学研究者、将来の指導者となり得る人材を養成します。



学びの特徴

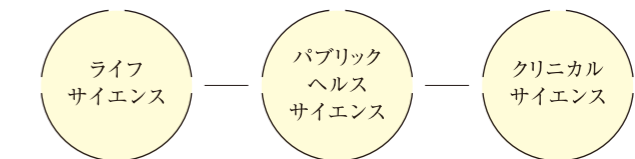
3つの教育研究分野を通して幅広く学ぶ。

国 際化が加速する現代、獣医学に関連するボーダレスな課題に対応できる研究者をめざし、3つの教育研究分野を基盤として学修します。「ライフサイエンス分野」、「パブリックヘルスサイエンス分野」、「クリニカルサイエンス(高度獣医療看護を含む)分野」の3つの教育研究分野を通して、専門性の高い知識、幅広い視野、自立した研究者に必要な課題発見能力や研究計画立案力、論文作成能力を養います。

専門知識に加え問題解決能力や
柔軟な思考力も修得。

専 門科目では、高度にして最先端の獣医学研究における専門的な知識を学びます。「演習科目」では、国内外の学会発表の準備を通して、高度獣医学研究を進めるために必要な表現力を修得。グループ学習など共同研究を行うことで、問題解決能力や柔軟な思考力も身に付けます。「特別研究」では、自立した研究者に必要な高度な研究遂行能力を培います。また博士論文作成に向けてさまざまな専門能力を修得します。

3つの教育研究分野



卒業後の進路

「One world, one health, one medicine」の精神に則り、協調性と創造性の豊かな人材を育成。ライフサイエンス、パブリックヘルスサイエンス、クリニカルサイエンスを含む、獣医学に基づいた多角的な視点と手法を用いて、次世代を担う研究者をめざします。

- 動物や人を含む疾患の新規診断や治療・予防方法に貢献できる科学的創造力を身に付けたライフサイエンス研究者。
- 感染症学・公衆衛生学・衛生学の各分野で、関連疾患の原因解明などに貢献できるパブリックヘルスサイエンス研究者。
- 次世代の担い手となる臨床獣医師、最先端の獣医療・獣医療看護を追求できるクリニカルサイエンス研究者。